

茨高
茨中

春 秋

発行
茨高・茨中 P T A
代表 紺谷 智則
編集
茨高・茨中文化広報委員会
水戸市八幡町16-1
電話 029(221)4936
茨高・茨中公式ホームページ
<http://www.ibaraki-jsh.ed.jp>
印刷 いばらき印刷(株)



茨城中学校、茨城高等学校の
新入生の皆さんご入学おめでとう
ございます。大変なこの時期
にお子様を支えてこられました
保護者の皆様にも心よりお慶び
申し上げます。

このたび令和四年度茨城中学
校・高等学校 P T A 会長に選任
されました紺谷智則と申しま
す。会長という大変重い役職に、
私なりに誠心誠意取り組んでい
く所存でございます。

茨城中学校の新入生へ
様々な期待や不安を抱いて入
学され、そろそろ学校生活にも
慣れて楽しく過ごされているこ
とと思います。令和四年度の新
入生の皆さんは特別な時代に入



新入生へのメッセージ
PTA 会長 紺谷 智則

三年間の高校生活はともろ
しく充実した時間を過ごしなが
ら、学校行事や部活動を通して
いろいろな体験をされることで
しょう。この恵まれた環境を生
かして、持っている才能を十二
分に開花させ、自分の未来を切
り開いていく力を身に付けてく
ださい。

また、高校生にとって大学に
入学することがゴールと思いが
ちですが、そこは実はスタート
でもあります。一般的には大学

飯村丈三郎先生が「報恩感謝」
を建学の精神として創設された
のが昭和二年。皆さんが高校三
年生の年に百周年を迎えます。
これもひとえに、諸先輩方のご
活躍と偉大なる功績を残された
賜物であります。その校風や伝
統を受け継ぎ、またそれらを教
え伝えられるよう勉強、部活動、
友人とのかわりを大切に中学
校生活を過ごして下さい。とし
て、色々なことに興味関心を持
ち挑戦してほしいと思います。

茨城高等学校の新入生へ
茨城高等学校は非常に質の高
い教育環境が整っております。
国際教養、医学、ICT、グロー
バル、キャリア教育や施設設備
など生徒にとつても恵まれ
た環境であります。

自然科学の研究は、大きく基
礎研究と応用研究に分類されま
す。直接的な効果や利益を重視
する応用研究に対し、基礎研究
は自然のしくみを理解すること
を受けました。

基礎研究と応用研究に分類されま
す。直接的な効果や利益を重視
する応用研究に対し、基礎研究
は自然のしくみを理解すること
を受けました。

医学コースで、生徒たちにま
じって水戸医療センターの安田
眞先生からお話をうかがう機会
を得ました。その中で基礎研究
についての言及がありました。
基礎研究が軽視されている日本
の現状に触れ、「新型コロナウイルスの
パ
ンデミックから一年ちよつとで、
ファイザーなど海外の製薬メー
カーがワクチンを開発したこと
に日本では驚きの声があるが、
実は海外では感染症の基礎研究
は二十年も続いている。基礎研
究を大事にするかおろそかにす
るかでは、有事の際に差が出る」
というお話があり、強く感銘を
受けました。



「知」の根っこ

校長 梶 克治

は四年ですが、グローバル化す
る社会では要求される高度な専
門性を培うためにも大学院（修
士課程二年、博士課程三年）に
進学して専門的な知識やスキル
を身に付けてみてはいかががで
しょうか。

最後に、PTA について
過去二年間は P T A 活動も制
限されており、コロナ前の活動
を経験している方が半分になっ

が目的です。基礎研究は実利的
な成果はもたらしませんが、基
礎研究の土台がなければ応用研
究は成り立ちません。長期的視
点に立てば、科学が人類の幸福
に寄与するためには基礎研究の
充実が不可欠です。

一人の人間の学びについても
同様のことがいえるのではない
か、と思います。現代社会には
「How to」があふれています。
教育や学びに対してもすぐに役
立つ結果が求められがちです。
私たちは「How to」に気を
とられるあまり、もつと根源的
で深い「Why」という問いを
発することを忘れてはいないで
しょうか。

人間の個性や人格は、個人の
経験や学びによって形作られま
す。今、中高生諸君が学んでい
る知識は、今日、明日に役立つ

てしまいました。コロナ禍が三
年目となり、三回目のワクチン
接種や各自の感染対策など徐々
に感染状況が減少しつつありま
す。コロナ前の活動を引き続け
るように、随時感染状況を踏ま
えながら以前の正常な P T A 活
動の運営に近づけたいと思いま
す。保護者の皆様には、今後と
もご理解ご協力のほど何卒お願
い申し上げます。



ものではありません。しかし、
人生という長い時間の流れの中
でとらえるとき、その学びは人
格を形成する材料や部品となり
ます。何の役に立つのか今は見
えていない「知」が、君という
個性を築く重要な礎となる可能
性もあります。

一本の樹木を見るとき、私た
ちの目は花や枝葉に向けられま
す。しかし、花を咲かせ、緑の
葉を生い茂らせるためには、地
中深く張り巡らされた「根っこ」
が必要です。現在、君たちがお
こなっている日々の学びは、根
を地中深く伸ばす作業に他なり
ません。深く、広く、大地をうが
つて伸びる根っこは、いつの日か
新しい水脈に到達するかもしれ
ません。

茨城高等学校・中学校には、
多様な学びの場があります。学
ぶこと、自らの知性を磨くこと
は、生きる力を養うことです。
知は、求めることによつてのみ
得られます。知を得るか否かは、
求めようとするか否かの違いで
す。二〇二二年度、本校生一人
ひとりが、深い学びの中で豊か
な知性を育んでいくことを期待
します。

入学によせて



高一学年主任 鯨井 章二



中一学年主任 佐藤麻希絵

入学おめでとうございます。「青春はいつ？」と恥ずかしがらずに保護者や先生など周りの大人に聞いてみよう。中学、高校、大学、社会人：と答えは人それぞれ異なるだろうけれど、ある調査によると「高校」と答える人が最も多いそうです。私ももし聞かれたら、「高校」と答えます。なぜならば、それぞれの時代を思い返したときに一番思い出が残っているからです。

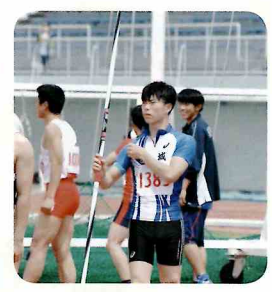
勉強も確かに大事です。ただ、勉強はなかなか思い出にはなりにくいと思います。是非、良い仲間たちと共に勉強だけでなく、様々なことにチャレンジして下さい。この三年間で、たくさん思い出を作ってください。そのサポートができるように学年団一同、精一杯頑張ります。今後とも宜しくお願い致します。

入学式での希望に満たまなざしと元気な返事。二十八期生の皆さんと同様、教員も、充実した六年を作り上げていこう！と気持ちを新たにしました。遠足や体育祭などの行事を終えるごとに、皆さんの表情は、とても楽しそう、かつ頼もしいものになっていきます。リーダーシップを発揮している人も増えてきました。「リーダーシップ」とは限られた少数の人が発揮すればいいというものではありません。一人ひとりが、クラス、学年のリーダーです！自分の得意なことを生かして、仲間とともに成長する集団を作り上げていきましょう。楽しいことも大変なこともたくさんあると思いますが、「自分を大切にすること、相手を大切にすること」を忘れずに、自信と誇りを持って行動していきましょう。



陸上部 大竹 陸斗

五月十八（二十一日）に行われた茨城県高等学校対抗陸上競技選手権大会で私は男子やり投げに出場し、五位入賞で関東大会に進出することができました。私は今大会を通して気づいたことがあります。それは「チームで戦う」ことの本当の意味です。陸上競技は個人競技がほとんどですが、顧問の小盛先生はこの言葉を常に掲げて指導してくださいました。今大会で私の競技中に応援に駆けつけてくれたチームの仲間、一投毎に



男子ソフトテニス部 口町 柊哉

男子ソフトテニス部は中学生十一名、高校生三名の計十四名で活動しています。「短い練習時間でどれだけ練習の質をあげられ、結果を出せるか」を重視しています。僕たちは部活の日数が週三時間しかありません。だからこそ、この限られた日数・時間の中でどれだけ練習の質を上げて結果を残せるか挑戦しています。そのため、ボール拾いから活動準備、移動まで、あらゆる場面で気を抜かず素早く行動しています。また、高



競技かるた部 栗田 美晶

私たち競技かるた部は週三回活動しており、月に一回ほど大会にも出場しています。中学生も高校生もほとんどが茨城中高に入学してから競技かるたを始め、一から競技かるたについて覚えていきます。素振りの練習、試合、決まり字の暗記、覚えることはたくさんありますが、皆数ヶ月経てば一通りのことはできるようになります。また、部には中学生も所属しており、高校生と中



部活動の報告

高校サッカー部 尾崎 崇仁

僕は、福田先生・川崎先生のご指導のもと、三学年計四十五名で週六日活動しています。コロナ禍で練習ができなかったり、試合が延期や中止になったりとコロナによって思ったように部活動をする事が出来ませんでした。しかしその限られた時間で、皆で楽しく、そして強度の高い練習をすることができました。そのおかげもあってか、五大会連続県大会出場（最高成績ベスト二十六）、そして茨高史上初のリーグ戦三部昇



高三遠足

高三学年主任 木村 智樹

高三の遠足は、コロナの影響で約一か月遅れの五月二十七日に実施しました。コロナ以前は、進路探究の一環として、東京の大学や研究施設を見てきました

が、今年度は横浜を訪問しました。午前中の雨も、お昼を境に晴れ上がり、遠足日和となりました。県外に久々に足を運んだ生徒達は、主に山下公園や中華街を中心に散策を楽しんでいました。班別



研修から戻ってきた生徒たちは焼売や小籠包、横浜銘菓などのお土産をたくさん購入でき、とても満足していました。東の間ではありますが、受験勉強から解放され、楽しく、有意義な一日を過ごすことができました。

高二遠足

高二学年主任 秋田 拓郎

あいにくの荒天の中、高校二年生は日光方面へ行ってまいりました。「こんな雨のなか東照宮を見学するのか」と誰もが思うような大雨でしたが、表門に近づくと多くの小中学生が見学

に来ていることに気づきました。チケットのもぎりとアルコール消毒を済ませた後、入り口左手の三猿に感嘆の声をあげ、眠り猫まで辿り着くと、すっかり遠足気分です。非日常でしか味わえない高揚感、本物に触れることで得る知識や経験値はやはり遠足ならではの



す。クラスごとの見学となった午後は、華厳の滝での記念撮影会にはしゃぎ、大谷石地下採掘場跡の幻想的な雰囲気を感じ、かつて一時代を築いた足尾の栄枯盛衰に感じ入り、帰ってまいりました。クラスメイトと楽しそうにはしゃぐ姿をたくさん見れて「遠足って良いもんだなあ」と改めて感じました。

高一遠足

高一学年主任 鯨井 章二

入学してから二週間。怒涛の日々を過ごし、ちょうど生徒も教員も心と身体に余裕が欲しくなっていた四月二十二日(金)、学年主任の故郷でもある埼玉に遠足に行ってきました。バスでの移動が長く、退屈してしまっ

た生徒もいたかもしれませんが、この日は天気も良く、バスから降りたときの解放感は格別でした。川越の



班別自由散策を全クラス共通とし、加えてA B D F組は長瀬の岩畳、E組は羊山公園の芝桜を見に行き、C G組はグリコピア・イースト工場を見学しました。遠足をきっかけにクラスメイトの新たな一面を見つけ、交友を少しでも深められていたら幸いです。



中三遠足

中三学年主任 長谷部将司

四月二十二日、中三の遠足は福島県会津若松市見学でした。当日は現地到着後にまず鶴ヶ城を全員で見学し、その後、班別行動として昼食込みで市内の自由散策となりました。当日は時折雨も落ちるあいにくの天気でしたが、逆に暑くならず、体調を崩すこともなく過ごせたようです。今回の企画は、昨年行けなかった林間学校のリベンジという側面もありましたが、特



に班別行動から戻ってきた時の皆の楽しそうな笑顔が象徴的でした。また、早かった朝の集合のみならず、少々心配だった現地での班別行動の集合も時間通りにできたことは、来たるべき秋の研修旅行に向けて良い予行演習になったかと思えます。三年生の皆さん、次に向けてまた頑張りましょう。

中二遠足

中二学年主任 作山 友孝

春麗らかな晴天の下、まだ桜が残るいわき方面へ行ってきました。行先は「アクアマリンふくしま」と「あぶくま洞」。本校の六年間を三つのステージに分けた第一段階である、「知的好奇心育成期」の中で、本物の自然に触れることをテーマに据えました。シーラカンスの標本に驚嘆し、トドの巨大さに恐怖し、ク



リオネの可愛さに癒され、一センチ成長するのに一〇〇年かかる鍾乳石の荘厳さに圧倒され、と、膨大な時間をかけて形成された自然の姿を目の当りにして、畏怖の念を抱かずにはいられません。小名浜港を眺めながら外で食べたお弁当は格別であり、新しい級友との親睦も深めることができました。

中一遠足

中一学年主任 佐藤麻希絵

四月二十二日の遠足で、中学一年生は、「モビリティリゾートもてぎ」に行ってきました。当初、雨天が心配されましたが、遠足担当の「晴れ男」！の先生のおかげで、晴天にも恵まれ、楽しい一日を過ごすことができました。「サーキット走行体験」では、数々の名レースが行われるコースを、クラスごとにバスで走行しましたが、「本当にレーシングコースを走っている！」という感激でいっぱいの人と、「バスに乗っているだけだよな？」という人の、感じ方のギャップがおもしろかったです。運転のアトラクションでは、生徒の皆さんが「ゴールド



免許」なのに、先生たちは…？ということもありましたね。皆の親睦を深める、とてもいい遠足となりました。



3-C

3-C代表生徒 高村 沙那
 14人という少ない人数の中でも、互いに協力することで、それぞれの個性が溢れ出す素晴らしい作品を作り上げることができました。より一層深まった絆で、受験も皆で乗り越えます！



3-D

3-D代表生徒 小宅 日奈子
 コロナ禍で殆ど旅行に行けなかった高校生活。そこで私達は世界一周冒険アトラクションを企画しました。みんなで協力しながら作り上げた文化祭は大切な思い出になりました。



3-G

3-G代表生徒 川松 真大
 高校生最後の文化祭、最後だから思いっきり楽しみたいと思いつながり準備をしてきました。結果は総合2位になることができ、悔しいですがとても満足です。3-G最高！



教員文化祭実行委員会委員長 遠藤 康
 保護者限定公開で実施。各々の立場で企画に参加する生徒の、ため込んでいたパワーをフルに発散する姿に圧倒され続けました。ルールの中でいかに楽しむか、工夫を凝らした数々の「珠玉」の企画たち。茨高生の更なる可能性を感じる機会になりました。



実行委員長生徒 石川 櫻子
 一瞬にも永遠にも思える鮮やかな四日間でした。未だ制限が残る中、保護者への公開・HRクラスでの企画実施を行えたことを嬉しく思います。そして、すばらしい執行部の仲間たちと茨祭に携わることができて本当に幸せでした。



1-E



1-F



1-G



2-F



2-G



2-H



2-I

委員会

尾竹 梓
 廊にある墨塗って読み取り調べてみましたが、知らないうちに七つも楽しい

ESS部

沼田 柚華
 今年の発表は、1年の時間を費やし、大ホールで行うことができました。1年前は部員が4人だったにも関わらず10人と賑やかに、先輩方の素晴らしい舞台を全員で飾ることができ、素晴らしい時間になりました。

化学部

森田 珠莉
 化学部では、銀鏡反応やスライム作り・炎色反応など、身近な実験から高校化学の分野まで様々なブースを用意しました。多くの方に来ていただけで良かったです。

漫画研究部

清水 伶
 今年は、学校でカラー印刷が不可になると想定外の事態が起き、沢山の方にご迷惑お掛けしましたが無事部誌を発行させて頂きました。この場を借りて感謝申し上げます。

放送部

川崎 兼大
 今回の文化祭では放送部員たちは、学年関係なく、今、自分たちの目の前にある使命を積極的に向き合う姿勢がありました。次の文化祭でも同じように発輝できると思います。

フォーク部

田村 颯汰
 ライブ楽しんでもらえたでしょうか。最高のステージを作り上げることが出来ました。あの空間を共有できたことが、皆さんが前を向く手助けになっていることを願います。

競技かるた部

栗田 美晶
 競技かるた部は百人一首の世界を観光光地に見立てての展示とそれに合わせたクイズ、その景品としてかるたのストラップやシールなども作りました。実際に坊主くりに競技かるたも体験してもらいました。





ポスター企画 1位
3-E 旅澤朋花 作



3-A

3-A 代表生徒 諸橋 柊典
今回の茨祭で私達、3年A組は「名探偵凶シロ」という謎解きの企画をさせて頂きました。文化祭期間中はクラス一同、一貫生と高入生の親睦を深められた上に、一生の思い出になる有意義な時間を過ごせました。3年生は2回目にして最後の茨祭となりますが、悔いの無い終わりが出来良かったなと考えています。



3-B

3-B 代表生徒 深瀬 結実
高校生最後の文化祭で最優秀賞を取ることができてよかったです。楽しかったこと、辛かったこと、いろいろありましたが、一生忘れることのないものを作ることができました。



3-E

3-E 代表生徒 鈴木 拓睦
今回の文化祭では仲間とともに協力して作業し、昨年よりさらに良いものを作り上げることが出来たと思います。結果、茨祭大賞では3-Eの皆で3位が取れて良かったです。



3-F

3-F 代表生徒 井坂 京愛
高校最後の茨祭、保護者に見てもらえる出し物は努力の賜物！F組の集大成、ジェットコースターに懸けた思い、その精密さには感動一入。正に軌跡×奇跡の青春を取り戻した。



1-A



1-B



1-C



1-D



2-A



2-B



2-C



2-D



2-E

囲碁・将棋部

井上 創太
今回の茨祭で囲碁将棋部は自由対局、部員と指導対局、自作詰将棋の展示を行いました。私自身も指導対局で様々な方と対局でき、有意義な時間を過ごすことが出来ました。

生物部

松田 公佳
千波湖調査、生物探求のポスター展示、部誌「大樹」の第40号を発行しました。生物の魅力や自然の奥深さを私達の研究から伝えたいと部員一丸となって取り組まれました。

美術部

小野寺優心
私たちは今年、3年目にしてようやく校門の前にアーチを作ることが出来ました。初体験でしたが教育実習の先生も手伝って下さり、完成させることが出来良かったです。

史学部

諸橋 柊典
今回史学部では、昨年度の巡検で調査をした勘十郎邸についての企画展を行いました。多くの制約を受けながらも無事に茨祭を終える事が出来て何よりです。そして、社会科教室に足を運んでくださった皆様、ありがとうございました。

吹奏楽部

鈴木 結実
こんにちは！吹奏楽部です。今回の文化祭のステージでは流行りの曲を取り入れ、今までとは違った演奏をお聞き頂けたと思います。ご来場頂きありがとうございました。

コンピューター研究部

佐竹 晃輔
"Revival of Old Computers"という企画のもと、MacBook Proを分解しSSDをアップグレードすることでパワーアップを図りました。また3Dプリンターのデモンストレーションなども行いました。

図書

学校の図り原簿を透その理由にた。大変いいことがいろいろ達成感ものでした

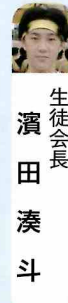
総合順位

- 1位赤組
- 2位緑組
- 3位青組
- 4位黄組

来年また一年生、二年生が自分たちの体育祭を行ってもっと多くのことが出来ることを期待しています。

コロナ禍での体育祭の競技は制約され、短い練習期間ではありましたが、実行委員をはじめ、各色の応援団を中心に、体育祭を盛り上げ、各色一丸となって競技に臨み楽しもうとする姿が感じられたことはとても素晴らしいと思います。

今回の体育祭は、降雨により半日での開催となりました。予定通り体育祭を行えたことは良かったのですが、競技の数が減りとても残念でした。



生徒会長
濱田 湊斗



第53回 茨中体育祭 2022.6.12



体育祭実行委員長
安達 紘人



3年生のリレーは各色団長からスタート

多くの方々を支えられ、体育祭を開催できました。ありがとうございました。ありがとうございました。生徒たちの人間的な成長や充実した表情が垣間見え、体育祭は欠かすことのできない学校行事だと実感しました。体育祭の感動を何処に見出したでしょうか。O先生は閉会式の校歌だといいます。閉会式の校歌演奏で、マスク越しに口ずさむ歌が聞こえてきました。四色対抗の体育祭が終われば、皆で校歌を歌い、互いを称え合う。その光景は、確かに感動する場面でした。かつての体育祭が戻りつつあります。あとは、大きな声でおもいっきり校歌を歌い、感動を共有できる体育祭。そんな体育祭が再びできることを心待ちにしています。



赤組団長
谷崎 梨 漣

今年の体育祭の最終目標はもちろん「連続優勝」でした。今回は赤組のみが女子団長を務めました。そのせいか、「女子だから」という古い理由で周りになにか言われているのではないかなどという多くの不安が生まれていました。しかし、いつの間にか多くのメンバーが支え協力し合い、一生懸命頑張ってくれたおかげで目標を達成することが出来、嬉しい気持ちで体育祭を終えることが出来ました。頑張ってくれたメンバーには感謝してもしきれません。この経験がメンバー一人一人のどこかの未来で繋がることを私は願っています。

黄組団長
濱田 湊 斗

結果は勝つことができませんでしたが、しかし自分たちは体育祭というもので色々なことを感じ成長できたと思います。自分は去年、優勝することができずとても悔しかったです。そして今年は絶対勝とうという思いで準備をしてきました。確かに、予定通りの開催ができなかったことは悔しかったですが、悔いのないようにできたと思うので良かったと思います。体育祭の良いところというのは、同じ色同士の上下で交流出来ることでもあると思います。そうやって毎年の思いを繋いでいけたらなと思います。



青組団長
海東 天 真

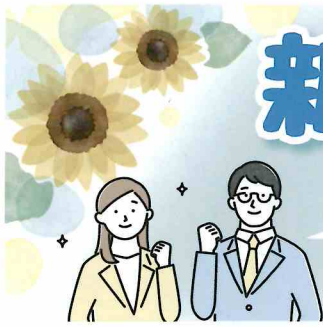
僕は体育祭を通して大きく成長を遂げることができました。最前線に立つことの大変さや仲間の大切さなど枚挙に暇がないほどたくさんのお話を学べたと思います。結果は決して満足できるものではありませんでした。それでも僕には全員が楽しんでるように見えました。青組は結果よりも大切なものを得たと思います。先生方、コロナ禍の中、体育祭を開催してくださりありがとうございました。そして青組の皆、こんな僕に最後までついてきてくれて本当にありがとうございます。

緑組団長
園部 蒼 空

コロナ禍であっても第五十三回茨城中学校体育祭を開催できたことを喜びつつありがたみを感じます。昨年度は規模を縮小した形での開催となりましたが本年度はおそらくコロナ禍前のような形で体育祭を実施できたと思います。各色、応援合戦や競技の練習で時間が足りなかったと思います。しかし、本番では各色完璧に演技を披露できたと思います。あいにく天候には恵まれなかったですが閉会式では晴れてよかったです。最後に体育祭関係の皆様ありがとうございました。



新任教職員の紹介



- ①好きなこと・もの
- ②中高生の頃の夢
- ③生徒達へのメッセージ又は自己紹介

①カクテルづくり
②高校教師
③今年度より物理教諭として着任いたしました。元々人と物理の魅力について話すことが好きでしたが、夢であった教師となりました。今期待と別に不安も感じていますが、まだまだ学ぶべきことは多いですが、日本で養った知識とアメリカで身に付けた大胆さを活かし、最大の学びを与えられるよう尽力します。よろしくお願いたします。



伊理 雄一 (物理)

①走ること。よく近くのランニングコースを走っています。今年度はフルマラソン大会に初出場。完走目指します。
②高校生の時は化学の先生になることが夢でした。大学時代の色々な紆余曲折の末、数学の先生になりました。
③授業や部活で私と関わりがある生徒もそうでない生徒も、これから数年間よろしくお願いたします。



小泉 悠斗 (数学)

①寝ること、もふもふの動物、森見登美彦
②入学時・検察官 入学後・楽しく生きる
③国語科の小泉智寛です。カクカクした字ですが智寛で(ともしろではなく!)ちひろと読みます。皆さんが国語や勉強、なにより学校生活そのものを楽しんでいるお手伝いが少しでも出来たらなと思います。よろしくお願いたします!



小泉 智寛 (国語)

①カエル・吹奏楽
②カエルの研究者・お笑い芸人
③「カエルの魅力を伝えること」それが私の人生における使命です。嫌われ者として扱われがちなかエルですが、カエルのことをよく見て、よく知ってみると、皆さんが思っているよりも白くて可愛い一面があるかもしれません。皆さん、よろしくお願いたします。



桑名 知碧 (生物)

①美味しいものを食べたり料理をしたりすること、動物の動画を観ること
②家庭科の先生になること
③本年度から採用となりました。上原由希菜です。担当は家庭科です。母校に先生として戻ることができて嬉しく思っています。最近はおつ森に再熱中です。宜しくお願いたします。



上原由希菜 (家庭)

①剣道
②教員
③勉強も部活も趣味も全力で取り組んで壁にぶつかって下さい。壁を乗り越えられなくて苦しんでいる時は是非相談しに来て下さい。どんな小さなことでもウエルカムです。皆さんが壁を乗り越えた先にある、光や喜びを感じられるように精一杯お手助けをしたいと思います。これからよろしくお願いたします。



戸崎 嘉 (情報)

①クラシック音楽や美術品の鑑賞と気晴らしの散歩です。また、数学で新しいことを理解できると快感です。
②中学生の頃は、法曹関係の仕事がいいと思っていましたが、高校生になると、数学を勉強してみようと思いました。
③知徳体をバランスよく伸ばして、社会に貢献できる人になってください。



堂 英夫 (数学)

①好きなことは、映画やドラマを観ること、スポーツを観戦すること、美味しいものを食べるということです。
②中学生の頃から、養護教諭の仕事に興味がありました。
③皆さんが健康で、安全に、楽しく学校生活を送ることができるよう、保健室から精一杯サポートしていきたいと考えております。これからよろしくお願致します。



後藤日菜子 (養護)

①身体を動かすこと、植物
②保健体育の先生
③こんにちは。この学校に来て二ヶ月が過ぎました。初めての場所は大人になっても不安が大きかったのですが、皆さんの元気に日々を過ごす姿に勇気づけられ、楽しく充実した時間が過ごせています。体育を通して、「好き」の発見につながるような授業づくりを心がけていきます。これからどうぞよろしくお願致します。



塚田 万葉 (保健体育)

①食べることが大好きです。特にからあげやハンバーグ、カレーなど。
②夢はたくさんありました。(笑)薬剤師や教員、客室乗務員など。
③好物や夢の一つではないおかげで色々な事に興味を持ち行動に移せました。皆さんにも気になる事があると思います。実際に触れ、経験するようにしてみてください。



和田 杏香 (化学)

①キョロキョロすること。変わった景色や看板、地名などを見つけたらうれしくなります。
②発明家になりたい、と小学校一年生の時の作文に書いた記憶があります。半世紀以上たった夢の二十一世紀の今も人間の毎日がそれほど変わらず、少しがっかりしています。
③よろしくお願いたします。



柏 雄司 (地理)

①料理。無心になれて美味しいものも食べられるので一石二鳥。
②教師。恩師の影響です。
③中・高と心身ともに忙しい時期かと思いません。どうぞ沢山の事にチャレンジしてください。たとえ失敗しても、皆さんにはリカバリーできる時間があるので、すから。皆さんの成長を応援しています。



阿部 真子 (数学)

三月二十四日、教員二名の引率で十五名の生徒が西表島に向けて出発しました。コロナの世界的拡大から約二年、止まっていた宿泊を伴う行事の再開です。「理科・サイエンス研修」は、本校の理科主導で行う学習プログラムです。その第一弾として、豊かな自然を有する西表島を舞台に、自然の成り立ちや環境保全について、深く学ぶ「西表島自然探究活動」を実施しました。「自分の五感を駆使して生物を理解する」をテーマに、現地の「くまのみ自然学校」に協力を頂き、マングローブ林や亜熱帯多雨林、目の前に広がるエメラルドグリーン的大海など、西表島の大自然に身を投じ、探究活動に取り組みました。生物観察のために西表島に一週間滞在するなんて、めったにできない貴重な体験です。きつと生徒たちにとつて、一生忘れることのない濃密な時間になったはず



西表島研修について
檜山 俊彦